

古着伝言板



〒232-0017

横浜市南区宿町 2-40 大和ビル 101

Tel. 045-710-6507

Fax. 045-710-6508

ホームページ:<http://www.fiber.jp>

発行: ファイバーリサイクルネットワーク

新しい飛翔を目指して

—FRNの20年の会—

ファイバーリサイクルネットワーク (FRN) が活動を始めてから 20 年が経ちました。2012 年 11 月 17 日 (土) に記念の会を開催しました。20 年前の設立総会の日も雨でした。そして 20 年目の記念の会のこの日もやっぱり雨でした。設立総会の際は「雨降って地固まる」と皆で納得しました。今回は「地を固め新しい飛翔を目指さない」と言うことなのでしょう。雨にも拘わらず皆様多数の方々のご参集下さり、良い会が持てた事に感謝しております。同じテーブルについて、布を媒体にして循環型環境社会の構築に向けて活動してきたナカノ株式会社も中野總恭会長を始め多くの若い社員の方々のご出席下さり、全体の会でも忌憚のない意見を出し合えた事は皆様も満足されたのではないかと考えております。また志を同じくして活動している千葉のメンバーの方や今年度 FRN 基金の支援先となった「アジアの女性と子どもネットワーク」の方も見られ、ご挨拶頂くことが出来ました。



午後のグループ別の話し合いでもそれぞれのグループから市民側、事業者側共に日頃感じていることなど遠慮のない話し合いが出来て良かったとの感想を伺うことが出来ました。この 20 年の活動を礎にして、知恵を出し合い循環型環境社会の構築に向けてファイバーリサイクル活動を大きく飛翔させ、新しい展開を目指して行きたいと思っています。そのためにはメンバーの方々のお力添えが何より大切です。皆様とご一緒に頑張って活動して行きたいと思っておりますので宜しくお願いします。

FRN 代表 服部孝子

みんなで創り、歩んだ 20 年

11 月 17 日 FRN 20 周年記念の会の日、またエコサロンの会場には服部代表、ナカノ株式会社関係、仲間たちが賑やかに集い、地区からの活動の発表もあり、交流会ではグループに分かれてこれからの夢も語りました。基本の故繊維の回収活動を継続し、市民と事業者だけで、しなやかに、そしてしたたかに知恵を出し合い、広がりを作り出していることを誇りに思いました。当日の資料の「FRN 基金の支援先一覧」は、みんなの汗の結晶ですね。これからの活動は、「リクチュール」の大学の動きや「ネットショップ」などの社会の情報もキャッチして、さらにみんなで「ワクワクする」「楽しませる」活動を創り出し、地域に発信していきたいですね。きものフェアがきっかけで、活動に参加した人が多くなっていますが、グループに分かれての話し合いの中で「リメイクを重視」「原点に立ち返る」「やってみようという遊び心」「倉庫の活用」など前向きな意見が多く出ていたのが嬉しかったです。久しぶりに仲間と会えて幸せを感じ、20 年間の様々な活動を思い出しています。新たな出発へ、夢をふくらませて・・・



旭区地区連絡会 志澤 希久子

秋のリサイクルきものフェア

2012年10月23日(火) かながわ県民センターで開催しました



秋フェアで始めて実行委員長になりました。県民センターの書類出し、車の手配、マスコミにフェアの掲載依頼、チラシ作り等々緊張の毎日。何か忘れ物がある様な気がしてピクピクでしたが、副実行委員長3人のサポートもあり無事に終わる事が出来ました。マル災商品(災害支援品)も定着し、今回「みやぎジョネット」代表の草野祐子さんが今後の活動のヒントにできればと来場され、材料として沢山のきもの等を買って行かれました。これからも見える支援をしていきたいと思っています。

鈴木 マリ子

当日外は激しい風雨だったにもかかわらず、486人もの方が来場して下さいました。朝早くから来て下さる方の列も例年通りで本当にうれしく思っています。今回はFRNとして何か出来る事はないかと考え「大震災を忘れない!」のメッセージになればと、マル災商品の売上げの寄付先と決まった「みやぎジョネット」の被災者が作った商品の販売コーナーを設けました。これからも何かの力になればと思っています。最後になりましたが当日ボランティアで力を貸して下さいました皆様本当に有難うございました、そしてお疲れ様でした。

石井 ヒサ子
菅原 和子
室田 美和子



支援先「アジアの女性と子どもネットワーク」

(AWC)

今年始めて支援先になった、アジアの女性と子どもネットワークにはFRN20周年記念の会に出席いただきその席で支援金をお渡ししました。

アジアの女性と子どもネットワーク(AWC)とは1997年子どもの商業的性的搾取に反対する活動から始まり、タイの山岳民族の村に学校建設、2008年には、おなかいっぱいプロジェクトなど主にタイを中心に幅広い活動をしている団体です。

FRN20周年記念の会に出席いただきました事務局長の山本博子さんのお話しでは、東日本大震災後、タイに建設した学校で学んだ子供から日本語でお見舞いの内容の手紙をもらい、とてもうれしかったというお話しをされました。私達FRNとは国際女性デー等と一緒に参加している団体です。

黒柳 市枝

2012年度FRN基金支援先報告

- ・ UN Women よこはま・・・50,000
- ・ みやぎジョネット・・・50,000
- ・ アジアの女性と子どもネットワーク(AWC)・・・100,000

「春・夏・秋のリサイクルきものフェア」災害支援コーナー売上金及び募金箱寄付金支援報告

- ・ 春・夏・秋フェア・・・119,500
- ・ 上記会場内設置募金箱・・・1,965
- ・ 茅ヶ崎回収拠点寄付金・・・3,000

トータル 124,465

ご協力ありがとうございました。

ファイバールサイクルネットワーク(FRN)は法人格を取っていませんがNPO団体です。行政や企業からの援助などは受けず、経済的に自立している団体です。